

表 3-5 JIS C 6802 : 2011 におけるレーザ装置のクラス分け

クラス 分け	潜在的危険性	必要とする各種ラベル内容	表示ラベル例
クラス 1	直接ビーム内観察を長時間行っても、観察用光学器具（以下、ルーペまたは双眼鏡）を用いても安全であるレーザ製品。	警告ラベル：不要 説明ラベル：クラス1レーザ製品 開口ラベル：不要	
クラス 1M	裸眼で直接ビーム内観察を長時間行っても安全であるレーザ製品。光学器具を用いて観察すると、特定の条件で MPE を越え、露光による目の障害が生じる可能性がある。 レーザの波長領域：302.5 nm～4,000 nm（光学器具に用いられているほとんどの光学ガラス材料をよく透過するスペクトル領域）	警告ラベル：必要 説明ラベル：レーザ放射／光学器具で直接ビームを見ないこと／クラス1Mレーザ製品 開口ラベル：不要	 警告ラベル
クラス 2	400～700 nm の波長範囲の可視光を放出するレーザ製品であって、瞬間的な被ばくのとときは安全であるが、意図的にビーム内を凝視すると危険なレーザ製品。	警告ラベル：必要 説明ラベル：レーザ放射／ビームをのぞき込まないこと／クラス2レーザ製品 開口ラベル：不要	
クラス 2M	可視のレーザビームを射出するレーザ製品であって、裸眼に対してだけ短時間の被ばくが安全なレーザ製品。光学器具を用いて観察すると、ある条件で露光による目の障害が生じる可能性がある。	警告ラベル：必要 説明ラベル：レーザ放射／ビームをのぞき込まないこと、また、光学器具で直接ビームを見ないこと／クラス2Mレーザ製品 開口ラベル：不要	 説明ラベル
クラス 3R	放射出力のレベルが、直接のビーム内観察条件に対して MPE を超えるものの、AEL がクラス2の AEL（可視）、またはクラス1の AEL（不可視）のわずか5倍であることから、障害が生じるリスクが比較的小さいレーザ製品。	警告ラベル：必要 説明ラベル：レーザ放射／目への直接被ばくを避けること／クラス3Rレーザ製品 開口ラベル：レーザ放射の出口	
クラス 3B	目へのビーム内露光が生じると、偶然による短時間の露光でも、通常危険なレーザ製品。拡散反射光の観察は通常安全。AEL 近傍では、軽度の皮膚障害、又は可燃物の点火を引き起こす可能性がある。	警告ラベル：必要 説明ラベル：レーザ放射／ビームの被ばくを避けること／クラス3Bレーザ製品 開口ラベル：レーザ放射の出口	 開口ラベル
クラス 4	ビーム内の観察および皮膚への露光は危険であり、また拡散反射の観察も危険となる可能性があるレーザ製品。しばしば、火災の危険性が伴う。	警告ラベル：必要 説明ラベル：レーザ放射／ビームや散乱光の目または皮膚への被ばくを避けること／クラス4レーザ製品 開口ラベル：レーザ放射の出口	